

第70回 大阪中学校選手権大会 女子決勝リーグ 戦評

平成28年7月28日 A① 10:00	高石市立取石中学校	23	4	11	9		47
八尾ウイング	大阪薫英女学院中学校	12	9	13	18		52

主審：石川淳 副審：西田智

両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。取石が④の3Pで先制するも、薫英が⑧のポストプレイで応戦する。取石は④と⑨の連続3Pでつきはなしていく。対して薫英は⑮のドライブで食らいつき23-13として1Qを終える。2Qの立ち上がりで薫英が⑥のスティール、⑱のポストプレイで得点を重ね、取石がたまたまタイムアウトを請求する。そこから取石が⑥のジャンプシュート、ポストプレイで反撃し、27-21と取石リードで前半が終了する。

後半も引き続き、両チームともにハーフコートマンツーマン。取石が⑩のオフェンスリバウンドから得点すれば、薫英は⑨のポストプレイで応戦する。取石は④の3P、⑥の得点でつきはなしにかかるが、薫英は⑥の3P、ジャンプシュートで許さない。38-34で3Q終了。4Qが始まると薫英が⑥の3Pで1点差に詰め寄る。取石は⑱の得点で反撃する。残り6分で薫英⑧のバスケットカウントでついに同点に追いつく。たたみかけるように薫英⑮、④が連続で得点を決めたところで、取石がタイムアウト。薫英⑮がドライブから得点をあげ、対する取石は④の3Pで食いさがる。その後も薫英が着実に得点を重ね、52-47で薫英が逆転勝利した。

武本・郷司

平成28年7月28日 B① 10:00	吹田市立南千里中学校	4	10	5	14		33
八尾ウイング	大阪市立城東中学校	12	2	8	10		32

主審：糸賀 副審：亀甲

南千里④⑤⑥⑦⑧、城東④⑤⑦⑨⑫でスタート。開始直後、城東④の3Pが決まる。そこから城東⑦、⑫が得点を重ねる。南千里はタイムアウトで立て直そうとするも、城東の勢いは止まらず、⑫のジャンプシュート、④の3Pが決まる。1Q後半に南千里は④、⑥のレイアップで反撃し、12-4と城東がリードを奪う。2Qは南千里が④、⑦の連続3Pで流れを引き戻す。南千里のディフェンスに城東は苦しみ、タイムアウトから流れを戻そうと試みる。ここから一進一退の攻防が続く。南千里がディフェンスからの速攻で同点とする。両チームともにシュートを放つものの決まらず、そのまま2Qを終える。

後半は互いにリズムをつかめないまま両チームともに無得点の時間帯が続く。その後、城東⑫が2連続でドライブを決め、さらに城東⑤がスティールから得点をあげる。南千里はタイムアウト後に⑥のドライブ、⑧のジャンプシュートで1点差に追い上げるが、終了間際に城東④のブザービーターが決まり、互いに譲らぬ接戦を展開する。4Qは南千里⑦のバスケットカウントから始まる。城東⑤がジャンプシュートを入れ返すも、南千里⑥がすかさず3Pで逆転に成功する。互いに激しいディフェンスを見せ、思うようにシュートが決まらない展開が続く。そんな中、南千里⑦の連続得点で残り1分でついに逆転する。城東④、⑫がシュートを狙いにいくが、南千里が気迫のこもったディフェンスを見せ得点を許さない。1点差を守りきった南千里が勝利を手にした。

後藤・福森

平成28年7月29日 A① 10:00	大阪薫英女学院中学校	19	16	25	17		77
八尾ウイング	大阪市立城東中学校	8	13	8	8		37

主審：武本 副審：塩見

薫英④⑥⑦⑧⑮、城東④⑤⑦⑨⑫。薫英が⑮のドライブからバスケットカウントで先制する。対する城東も⑫のターンシュートなどで応戦するが、なかなか薫英の堅いディフェンスを崩すことができない。薫英はリバウンドからのセカンドチャンスを得点につなげ、少しずつ点差を広げていく。19-8と薫英がリードを奪う。2Qは互いにハーフコートマンツーマンでスタートする。城東は薫英の厳しいディフェンスに苦しみながらも、④の3P、⑤のドライブで食らいつく。薫英は激しいディフェンスから相手のターンオーバーを誘い、⑭や⑥の速攻で得点をあげる。35-21で前半を終える。

後半に入っても薫英はディフェンスでプレッシャーを与え続け、城東のミスを誘う。城東はタイムアウトで修正を図るも流れは変わらず、点差は広がっていく。城東は果敢に1対1を仕掛けていくが、思うように決まらない。4Qで城東は④を中心にドライブや、⑤のジャンプシュートで得点をあげる。しかし、薫英はディフェンスのプレッシャーを最後まで緩めず、コンスタントに点を取り続ける。77-37で薫英が勝利を収めた。

小野・印南

平成28年7月29日 B① 10:00	高石市立取石中学校	23	17	16	17		73
八尾ウイング	吹田市立南千里中学校	14	1	8	16		39

主審：黒岡 副審：西田尚

両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。取石は⑥、⑩、⑱のオフェンスリバウンドや④のペネトレイトで得点を重ねる。対する南千里はコートを広く使ってアウトサイドからの攻めで応戦する。しかし、南千里④がファウルトラブルになると点差が広がり、23-14で1Q終える。2Qに入ると、取石は④、⑱が得点を重ね続け、一気に点差が広がっていく。南千里はタイムアウトや④をコートに戻すことで打開しようとするものの、思うように得点をあげることができない。40-15で前半終了。

3Qでは取石が④のペネトレイト、⑥のポストプレイで効果的に得点をあげる。南千里は⑦のカッティング、⑤のジャンプシュートで少しリズムを取り戻す。4Qは南千里ペースで始まる。南千里がディフェンスリバウンドから流れをつかみ、速攻や⑤のペネトレイトなどでリングに強く向かうプレイが増える。取石は④の3Pなどで得点をあげ、互いに譲らぬ展開となる。しかし、リードを保った取石がそのまま73-39で勝利した。

両チームともに最後まで走り続けた。近畿大会に向け、あと1試合もがんばってほしい。

倉本・尾形

平成28年7月29日 A③ 13:00	吹田市立南千里中学校	0	7	7	11		25
八尾ウイング	大阪薫英女学院中学校	15	24	23	27		89

主審：石川淳 副審：杉山峻

南千里④⑤⑥⑦⑧、薫英④⑥⑦⑧⑱でスタート。薫英は出だしから激しいディフェンスで南千里のミスを誘う。なかなかリズムの作れない南千里はタイムアウトで立て直しを図る。しかし、タイムアウト後も流れは変わらず、薫英の速攻を止めることができない。15-0で1Qを終える。2Qも薫英の流れが止まらず、⑤の3P、⑱の速攻、④、⑦のドライブなどで着実に得点を重ねていく。対する南千里も⑤、⑥を中心にチーム一丸となって攻め込むものの、薫英の堅いディフェンスを崩すことができず、39-7で前半が終了する。

後半に入ると、南千里は少しずつパスが回るようになる。果敢にシュートまではいくものの、なかなか得点に結びつけられない。対する薫英はセンター陣を中心に得点を重ねていく。4Qに入り、一矢報いたい南千里は⑥を中心に反撃を試みる。薫英はインサイドを中心としたオフェンスで対抗する。両チームとも、最後まで気を抜かず、ひたむきなプレイを見せてくれた。89-25で薫英が勝利し、全勝で近畿大会出場を勝ち取った。

小野・郷司

平成28年7月29日 B③ 13:00	大阪市立城東中学校	6	13	15	15		49
八尾ウイング	高石市立取石中学校	13	17	18	17		65

主審：飯田 副審：梅林

城東④⑤⑦⑨⑫、取石④⑥⑨⑩⑱、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。開始直後、取石⑥が3Pを沈め、試合が動き出す。取石は速い展開で攻め、④、⑨のドライブで得点を重ねる。一方、城東は④のジャンプシュート、⑤のドライブで得点をあげる。13-6と取石がリード。2Qは取石④のドライブから始まる。取石は粘り強いディフェンスで城東のターンオーバーを誘い、⑱や⑥のドライブで得点を重ねていく。対する城東は⑤の3P、ドライブで食らいつく。タイムアウトからリバウンドをがんばった城東が得点をあげ、30-19で前半を折り返す。

後半は城東のパス回しが速くなり、⑤の3P、ドライブと連続得点が生まれる。取石はタイムアウトから今一度ディフェンスのプレッシャーを強め、リズムを取り戻す。4Qは取石⑱のジャンプシュート、速いオフェンスから④、⑩の得点が効果的に決まる。城東は⑨、⑩が入れ返すものの、点差を縮めるまでには至らず、65-49で取石が勝利を手にし、近畿大会出場を決めた。

印南・倉本

第70回 大阪中学校選手権大会 男子決勝リーグ 戦評

平成28年7月28日 A② 11:30	枚方市立桜丘中学校	11	10	17	10	2	50
八尾ウイング	大阪市立堀江中学校	11	9	14	14	6	54

主審：大倉 副審：高貴

桜丘④⑤⑥⑦⑧、堀江④⑤⑥⑦⑧でスタート。桜丘は④、⑤のドライブを中心に合わせのパスワークで得点を重ねていく。一方、堀江は⑤のインサイド、⑥のドライブを中心に攻める。1Qは互いに譲らず、11-11。2Qに入り、桜丘はインサイドを激しく守り、速攻につなげ流れをつかもうと試みる。対する堀江はパスがよくまわり、⑥の3Pなど要所をしめるオフェンスで流れを渡さない。一進一退の攻防が続き、21-20の緊迫した展開で前半を折り返す。

後半に入ると桜丘は速攻を中心として④、⑤が得点を重ね、引き離しにかかる。堀江は⑤を中心にインサイドを攻め、桜丘のファウルを誘う。堀江④の連続3Pで必死に食いさがり、38-34で3Qを終える。4Qが始まると、桜丘のファウルトラブルから堀江のオフェンスに勢いがつく。徐々に得点差が縮まっていき、残り25秒で堀江⑧のシュートが決まり、48-48で延長に突入する。

勢いに乗った堀江がそのまま延長の闘いを制し、54-50で勝利を収めた。

赤城・金田

平成28年7月28日 B② 11:30	大阪市立巽中学校	15	12	9	6		42
八尾ウイング	大阪市立墨江丘中学校	7	16	15	12		50

主審：南野 副審：田辺

両チーム、ハーフコートマンツーマンでスタート。巽は⑥、墨江丘は⑤を中心にオフェンスを組み立てる。巽は高さで墨江丘を上回り、それに影響を受けた墨江丘のシュートが思うように決まらない。巽はピック&ロールで得点を重ね、点差を開きにかかる。しかし、墨江丘も⑤、⑧が1対1から得点を奪い27-23で前半を終える。

後半開始直後、墨江丘⑤の3Pが連続で決まり、一気に逆転に成功する。その後は互いに得点を重ね、38-36と墨江丘の2点リードで4Qを迎える。巽は⑥、墨江丘は⑤を中心とした展開から得点を重ねる。墨江丘は⑤のドライブからの合わせを確実に決めていく。巽は1対1で得点を狙いに行くが、墨江丘のディフェンスのがんばりにより、徐々に得点がはなれていく。最後まで墨江丘がルーズボールとディフェンスのがんばりからリードを守りきり勝利した。

濱口・平松

平成28年7月29日 A② 11:30	大阪市立堀江中学校	9	5	15	24		53
八尾ウイング	大阪市立巽中学校	7	17	25	9		58

主審：畑迫 副審：田辺

堀江④⑤⑥⑦⑧、巽④⑤⑥⑦⑨で試合開始。両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。序盤は両チームともに決め手を欠く。開始2分、堀江④の3Pで動き出す。その後、互いに得点を取り合い、9-7で1Qを終える。2Qに入り、堀江は⑤、巽は⑥、⑨が得点を取り合う。巽⑥のパスカットから速攻が2本決まり、堀江がたまたまタイムアウト。その後も巽⑤、⑥が得点をあげ、24-14と巽がリードして前半を終える。

後半開始直後、堀江⑤のバスケットカウントで点差を詰めるが、巽④、⑥が得点を重ね点差を広げる。堀江は④の3Pで応戦するが49-29で3Q終了。4Qは堀江が⑤、⑥の得点で点差を詰める。巽はファウルトラブルで得点が止まる。ここから堀江が⑤、⑥、⑧を中心に怒涛の攻めを見せ、54-49まで追いつがる。巽は流れを取り戻すべくタイムアウト。しかし、堀江④が3Pを沈め2点差となる。追いつがる堀江に対し、巽⑥がシュートを決め、58-53で決着をつけた。

板野・志賀

平成28年7月29日 B② 11:30	枚方市立桜丘中学校	23	22	10	17		72
八尾ウイング	大阪市立墨江丘中学校	9	10	16	15		50

主審：堂國 副審：前田

桜丘④⑤⑥⑦⑧、墨江丘④⑤⑥⑦⑧で両チームともにハーフコートマンツーマン。桜丘は⑦のドライブを皮切りに④、⑥の連続ゴールで6-0と主導権を握る。墨江丘はたまたまタイムアウト。墨江丘は⑧のリバウンドシュート、⑤の3Pなどで盛り返すも、桜丘④、⑦のドライブを止めることはできず、23-9で1Q終了。2Qに入っても桜丘が④を中心に速い展開に持ち込み、⑦、⑧のシュートで点差を広げていく。対する墨江丘は攻めあぐむものの、オフェンスリバウンドやルーズボールをがんばり、④、⑦のシュートで加点する。桜丘は④をフェイスガードされるものの、⑫の1対1などバランスよく攻めて45-19で前半を終える。

3Qに入ると墨江丘は⑧の1対1や⑤の3Pで流れをつかみ、得点差を縮めていく。桜丘は④がゲームをコントロールするが、思うようにシュートが決まらず55-35で3Q終了。4Qに入ると、リズムを取り戻した桜丘が速い展開をからめながらバランス良く加点していく。対する墨江丘も⑤の3Pや④の粘り強いプレイで対抗していく。前半のリードを保った桜丘が勝利した。

福嶋・原辺

平成28年7月29日 A④ 14:30	大阪市立墨江丘中学校	15	10	8	20		53
八尾ウイング	大阪市立堀江中学校	15	15	16	32		78

主審：開 副審：浅野

両チームともに勝てば近畿大会出場が決まる試合。墨江丘④⑤⑥⑦⑧、堀江④⑤⑥⑦⑧、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。墨江丘は堀江④に対してフェイスガードで守る。墨江丘が⑧の3P、ディフェンスでスティールからの速攻で得点を取ると、堀江は⑥の3P、ドライブで応戦。15-15で1Qを修了。2Qに入り、堀江は⑤のミドルシュートでリードを奪うと、そのまま流れをつかみ、26-19とリードを広げる。墨江丘のタイムアウト後、両チーム我慢の時間が続く。墨江丘⑤が均衡を破り、30-25と堀江がリードして前半を終える。

後半は堀江の連続得点から始まる。両チームともなかなか得点をあげられない。堀江⑥が3Pを決め、墨江丘がタイムアウト。その後、墨江丘⑤が得点を返すが、堀江⑥の勢いが止まらず、46-33とリードを広げて3Qが終わる。4Qは墨江丘⑤の3Pが決まるが、堀江⑧、⑤、④の連続得点でリードが広がっていく。墨江丘はオールコートでプレッシャーをかけるが、堀江は落ち着いてボールコントロールを行い、得点を重ねる。墨江丘は最後まであきらめず得点を取りにいくが、78-53で堀江が勝利し、近畿大会出場を決めた。

武田・福嶋

平成28年7月29日 B④ 14:30	大阪市立巽中学校	13	10	8	12	3	47
八尾ウイング	枚方市立桜丘中学校	17	10	3	14	4	48

主審：秋山 副審：亀甲

巽④⑤⑥⑦⑨、桜丘④⑤⑥⑦⑧でスタート。両チーム、静かな立ち上がりから少しずつ流れに乗り始める。巽は④の3P、桜丘は⑥の3Pや1対1で加点していき、一進一退の流れで試合が進む。桜丘⑤がゴール下でふんばり、17-13で1Q終了。2Qに入り、桜丘は④を中心に2対2を展開してバランスよく加点していく。巽も⑦のドライブや⑥のゴール下で食らいつき、どちらも流れを譲らぬまま前半を終える。

後半開始早々に巽が⑥、⑦のドライブ、④のリバウンドシュートなどで連続得点し流れをつかむ。桜丘はタイムアウトから流れを引き寄せ、⑧、⑤のフリースローで差をつめる。32-30と巽リードで4Qを迎える。最終Qは互いにリズムに乗り始め、桜丘④の3Pで逆転に成功する。桜丘は速い展開から⑤、⑦で加点。一方、巽はインサイドの⑤にボールを集める。桜丘3点リードの場面で巽⑨の3Pが決まり、延長に突入する。

延長では両チームのチームファウルから互いにフリースローで加点していく。最後はフリースローの確率が勝敗を分け、48-47で桜丘が勝利し、近畿大会出場を決めた。

志賀・原辺